

北塾 紅梅むせり

夫梅花は諸木の魁にして其実も亦萬葉乃長なり  
余の家實有りと幾く年を考るに後園に数株あり  
年毎に実を結ぶ採て梅干ふ製し恒に食用と  
すふ自ら風邪をけげ時疫を考るに後夫りにならば  
老ハ耳眼齒健にして幼も疱瘡諸濕の難なり其その  
功能は本と或博士ふ答て曰きり此を味古典に考る  
しゆ蓋此地ハ

聖廟の御領より最御愛樹とすらし世に普く考るに  
所より他よりなれりふふく香高く其子皮ははく  
肉より種よりなり全 御神徳のいもをいふ  
故に常にこもり合ふるものハ邪を避け虚を補ひ精神を  
依りえむれハ痰咳忽ち治せん 汝若しそこを 照しふ  
まのりハ是を聖廟より諸人をあつる

御 京都北野境内西今小路町  
免 御繪圖所 文玉堂三宅清兵衛

